

目 次

発刊のことば

発刊に寄せて

凡 例

第 1 部 大日本帝国憲法下の長崎市会

第 2 編 普通選挙制採用から地方自治法施行まで

第 1 章 普通選挙制施行と市会

- 1 普通選挙制施行と不況下の市会 4
大正15年の市制改正 長崎市会会議規則の改正 昭和4年の市制改正 昭和初期の長崎 富永市長の選出 第13回市会議員選挙 市長選挙投票無効の動議 市会議員再選挙 市会議員に対する費用弁償 草間市長の選出
- 2 市勢振興と市会44
都市計画街路と用途地域の決定 海陸連絡の実現 第3次市域拡張の動き 長崎市漁港施設の整備 市勢振興のための誘致策の建議 市勢振興第3の柱としての観光 進む道路網の形成 道路改修修繕と寄附
- 3 不況下の市民生活と市会87
市債の累積と市会の対応 自家保険制と市債償還資金蓄積 教育設備の改善 教育設備5ヵ年計画の実施 学校衛生に関する市会の論議 学校歯科医新設建議案 青年訓練所の設置 上水

道配水体系の整備と市会 水道臨時委員の設置 全市計量料金制の採用 社会事業に関する常設委員会設置の建議 職業紹介委員会規程の設定 実費診療所など実現の建議 失業救済事業と市会 救護法の実施 市営住宅と公設市場 昭和5年の台風と市会

第2章 大長崎市建設計画と戦時体制移行

- 1 昭和戦前期の市会 130

満州事変 第14回市会議員選挙と政派对立 市会議員補欠選挙 笹井市長の選出 市会会派の再編 助役と収入役の選任問題 市会議員再選挙 市選挙粛正会規程制定と選挙粛正運動 大長崎振興会の設立 第15回市会議員選挙 議長と副議長の選挙 日中戦争と市会 国民精神総動員運動 市行政機構の拡大と改編 政派の再編と長崎市政研究会 市制50周年事業 第3次市域拡張 議長と副議長の不信任決議案をめぐる紛糾 大長崎市政研究会 市会議員再選挙並びに補欠選挙 倉成議長の死去に伴う議長の空白 市長選挙をめぐる紛糾 議長の選出 青木市長と市会
- 2 市勢振興の具体化と市会 184

市勢振興調査委員会と市会 大長崎振興会の活動 広域交通網の建設 都市計画事業の展開 都市計画街路の実施 高次都市機能の維持
- 3 昭和戦前期の市民生活と市会 229

厳しい財政状況 教職員の大幅削減と2部授業の復活 教育設備5ヵ年計画の結末 小学校2部授業の撤廃 臨時教育施設調査会設置と教育設備改善計画 単独高等小学校建設促進などの要望 桜ヶ丘幼稚園設置 私立学校補助をめぐる論議 市立高等女学校の移転改築と工業学校廃止 独立青年学校の新設 市営運動場の建設 長崎市公会堂の建設 唐八景公園と稲佐岳 上水道漏水調査 計量器使用料の廃止 企業誘致と水道料金

防空と水道 公設小売市場条例と公設卸売市場条例の設定 果
菜卸市場 中小商工業者の助成 電気、ガス料金問題 永代借
地権の解消

第3章 翼賛体制と市会

- 1 翼賛体制と市会 272
皇紀2600年記念事業 青木市長の辞職と新市長の選出 助役の
選任 翼賛体制への動き 開議前に国民儀礼 議長選挙 市長
の辞職と市制第45条の事務検査 市制第162条による長崎市会
解散命令 第16回市会議員選挙と翼賛市政建設期成会 議長と
副議長の選挙 常設委員の設置 岡田市長の選出 助役と収入
役の選出 太平洋戦争と市会 市行政機構改革と市会 市吏員
の待遇問題 町内会と常会 市参事会委任と市会 市会事務局
の設置 昭和18年の市制改正 市制改正への対応
- 2 戦時下の市民生活と市会 310
国民学校と市会 中等学校と市会 中和寮における中国在留邦
人子弟の収容と市会 水飢饉と補水工事 第3次上水道拡張と
市会 小ヶ倉浄水場の建設と三菱 給水規制と水道使用条例の
改正 配給制度と市会 中小商工業者更生資金通規程の設定
価格統制と公設卸売市場 青果市場市営化などの建議 魚市と
市会 防空と市会 空襲と疎開
- 3 戦時行政・原爆・終戦と市会 348
戦時行政機構の再編成 原爆投下と市役所 原爆の被害報告
原爆災害の復旧 戦後最初の市行政機構の改革 岡田市長の再
任と辞職 正副議長選挙と議員定数の削減 昭和21年の市制改
正 戦災復興と市会 生活保護費 長崎医科大学復興に関する
意見書 全員協議会による予算審議

第3編 各 論

第1章 港湾改良と市勢振興

1 大長崎振興計画 378

市勢振興の推移 市勢振興調査委員会の振興方策 博覧会開催の建議と具体化 長崎雲仙間の交通強化 すずむ国際産業観光博覧会の準備 観光課の設置と観光の振興 国際産業観光博覧会の開催 観光政策の展開 航路補助の始まり 航路補助の拡充

2 港湾改良と埋立て 425

長崎の港湾改良の変遷 近世の長崎港と外国人居留地の建設 第1次港湾改良事業の背景とその概要 第2次港湾改良事業の背景とその審議 計画変更と市会の混乱 第2次港湾改良計画の概要と稲佐沿岸改良工事 第3次港湾改良事業の背景 第3次港湾改良計画の概要 元船町護岸築造工事の国庫補助の申請と工事の概要 未完の港湾改良事業 幕末から昭和初期までの長崎港の変遷

3 港内交通の整備と電気軌道の延長 469

港内交通船の整備と市営交通船 棧橋の充実と港内交通船 市営交通船の設備・経営の改善 港内交通船の統一への契約 長崎市交通船臨時委員の設置 市営交通船事故と市会 市営交通船経営の改善と新造船 紛糾する電鉄との契約更改 松ヶ枝町旭町間に市営交通船航路新設 港内交通船の統一 電気軌道の延長

第2章 産業・経済の展開

1 長崎の政治経済の概観 520

長崎市の人口 大正期の長崎市の経済状況 昭和恐慌下の長崎

	戦時下の長崎 敗戦と占領開始	
2	長崎市農業と市会 ……………	530
	明治・大正期の農業 昭和初期の農業 戦時下の農業	
3	林業 ……………	539
	植林計画と市会 造林基本財産の設定	
4	水産業の展開と市会 ……………	548
	漁業教育と市会 漁法近代化 漁港の整備と市会 漁港に付帯 する施設 魚類集散所と市会 水産加工 漁業統制と市会 漁 業の復興	
5	工業と市会……………	572
	三菱長崎造船所と市会 その他の造船所 三菱電機製作所 兵 器製作所 長崎製鋼所 木造船所 紡績工業 食料品工業 その他の製造業	
6	企業誘致と産業奨励 ……………	592
	企業誘致と市会 市の勸業政策と市会 商品陳列所と市会 商 工奨励館	
7	電気・ガス供給事業 ……………	605
	電灯・電力供給事業と市会 ガス供給事業と市会	
8	交通 ……………	616
	鉄道交通 馬車と乗合自動車 市街電車 長崎港の整備 海上 交通 沿岸航路 港内交通	
9	貿易と倉庫……………	629
第3章 保健衛生・消防・災害対策		
1	保健・衛生事業と市会 ……………	638
	市制施行以前の伝染病対策と衛生行政 防疫体制整備と衛生組 合 明治期のコレラとペスト対策 長崎伝染病院の設立 市街 の清掃 明治期の塵芥処理 塵芥処理事業の一部直営化 衛生	

組合の変遷 大正期のコレラ対策 伝染病予防法等の改正 ト
ラコーマ診療所と結核診療所の設置 腸チフスの流行 保健衛
生施設の拡充

2 消防 662

篤志消防組と市会 公設消防組の設置と市会 市域拡大と消防
組の組織変更 大正期の消防組の組織状況 消防組織と消防器
具の改善 常設消防体制と市会 戦時体制下の消防—防護団と
警防団— 終戦と消防

3 災害対策 707

国の災害対策制度 大正11年の豪雨災害と市会 大正12年の水
害と市会 昭和2年の水害と市会 昭和3年6月の豪雨災害と
市会 昭和5年の台風災害と市会 罹災住宅復旧資金の貸付
浦上川改修工事と市会

第4章 社会事業

1 社会事業の推移 752

恤救規則 救護所の設置 「窮民救助規則」の制定 社会事業
関係予算の推移 大正9年の意義 「長崎市社会事業要覧」の
発行 救護法の実施 社会事業に関する常設の委員会設置を求
める建議 社会事業懇談会の開催 戦時体制下の社会事業

2 方面委員 764

方面委員制度の創設 「長崎市社会事業要覧」から 昭和期の
方面委員 方面委員令の公布

3 職業紹介所 771

職業紹介所の開設 職業紹介法の公布 大正期の職業紹介所
昭和期の職業紹介所 職業紹介委員会の設置 「職業紹介案
内」の発行 少年職業指導紹介 戦時体制下の職業紹介事業

4 失業救済事業 784

失業救済事業の開始 失業者救済のための河川浚渫工事 失業

	者の救済か事業の完遂か 昭和7年度失業応急事業 直営か請負か 昭和8年度失業応急事業 失業救済事業費の推移	
5	公益質屋	797
	公益質屋の設置 小榊村編入と公益質屋 公益質屋特別会計	

第5章 教育

1	明治後期の教育	806
	小学校 長崎商業学校 その他の学校	
2	大正期の教育	819
	大正初期の小学校 大正初期の実業教育 臨時教育調査委員会と小学校増設 教育に関する市会の要望 相次ぐ小学校の増改築	
3	昭和戦前期の教育	837
	昭和初期の小学校 国民学校 青年訓練所、実業補習学校と青年学校 中等学校 商業学校 工業学校と市会 高等教育機関設置に向けて 市民運動場 公会堂	
4	戦時体制下の学校	858
	戦時教育体制 学校生徒の勤労奉仕 学校報国隊と学徒動員 学徒動員令と学校工場 国民学校高等科生徒の動員 青年学校の状況 疎開、空襲下の学校 原爆被爆と学校 学校建築物の原爆被災	
5	授業の再開と学校の復旧	880
	終戦と学校 占領軍と教育 授業の再開 中学校の授業再開 学校の復興費と市会 青年学校 進駐軍と学校 新しい教育制度へ向けて	

第6章 行財政制度と税財政構造の展開

1	市制下の市会と行財政制度の展開	903
	市制下の市行財政の特徴と市会 市の歳出・歳入制度、予算・	

決算制度と市会 市の歳入・租税制度と市会

2 都市財政膨張下の市税・財源問題の多様化と市会 …………… 911

大正・昭和初期の市歳入の動向と時期区分 税制整理・地方税
制限法下の市財政 国税附加税の伸び悩みと市の財政窮迫 都
市財政の膨張と地方税制限の緩和及び課税規制 市財政膨張期
の市税問題の多様化と市会 県税戸数割附加税の増徴問題と市
会 県税附加税増徴に伴う負担問題と市会 特別税課税問題—
宴席消費税と観覧税 「市税賦課漏れ」問題 戸数割規則の制
定と市会 県税家屋税の創設と市会 大正末期から昭和初期の
市税構造の変化 国庫・県補助金の展開と市会 市債の急増と
市会

3 戦時下の市の税財政と市会 …………… 955

戦争関係経費の激増と地方税源の中央集中 昭和15年の地方税
財政制度の改革と市会 税制改革による市税収入の変化と市会

附属資料

市制の変遷 …………… 965

掲載写真・資料提供者

記述編第2巻執筆者

あとがき